2020 年 5 月 8 日

個人資産運用業務におけるグループ会社の相互活用について
～「千葉・横浜パートナーシップ」連携施策【Vol.9】～

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、コンコルディア・フィナンシャルグループの横浜銀行（頭取 大矢 恭好）との業務提携「千葉・横浜パートナーシップ」に基づき、2020 年 5 月 11 日（月）より、スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長 岡田 聡）が設定する「グローバル株式ファンド（愛称：The GDP）」の販売を開始します。

両行は今年 2 月より、ちばぎんアセットマネジメント株式会社（取締役社長 高城 洋一）が設定するファンドの取扱いを開始しており、今回、当行の投資信託商品のラインアップに横浜銀行が出資する同社のファンドが加わることで、互いのグループ会社を活用した個人資産運用業務での連携が一層強化されます。

なお、本ファンドは、長期的な成長を目指す海外株式型のインデックスファンドとなっており、投信積立等も活用しながら、個人投資家の裾野拡大と投資機会の創出を図ってまいります。

ファンドの概要は下記のとおりです。

記

ファンド名称	グローバル株式ファンド（愛称：The GDP）
取扱開始日	2020 年 5 月 11 日（月）
購入時手数料	購入価格に対し、2.2%（税込み）
おもな特徴	○ 主として、日本、先進国（日本を除く）および新興国の株式に投資する海外株式型ファンドです。 ○ 日本、先進国、新興国の組入比率は、それぞれの経済規模（ＧＤＰ）の比率をもとに決定するため、世界経済全体の成長をバランスよく享受することが期待できます。 ○ 日本、先進国、新興国の各区分の投資は、代表的な指数（インデックス）への連動を目指す運用を行います。
販売会社	千葉銀行、横浜銀行、浜銀ＴＴ証券、京都銀行

以 上